



鋼橋上部工事においても新技術導入促進(Ⅱ)型を試行 (北陸地整の鋼橋上部工事で初！)

○ 試行対象工事 (11月7日公告)

工事名 : **国道17号三用川橋上部工事** (長岡国道事務所)
工事場所 : 新潟県魚沼市十日町地先から大浦地先

○ 新技術導入促進(Ⅱ)型について

工事の発注に当たって、発注者が指定するテーマについて、実用段階に達していない技術又は研究開発段階にある技術の検証に関する提案を求め、総合評価において提案技術の有効性、具体性等について評価します。

北陸地方整備局では、鋼橋上部工事においても新技術導入促進(Ⅱ)型を試行します。

<技術提案テーマ>

『製作時又は架設時における画像解析等を活用した**品質管理の省人化手法**について』

<テーマ設定のねらい>

高力ボルトの締付確認(供回り、締付忘れ)は、作業者の締付作業完了後に管理者が高力ボルト全てを目視で確認する。その後報告書を作成することになるため、管理者の業務負担が大きい。また、塗装についても同様に膜厚管理も負担が大きいことが課題となっている。

このように、品質管理に対し、今までのような信頼性を確保しつつ、業務負担の低減に繋がるような省人化手法の提案を期待。

<評価手法>

当該テーマを1課題1事項に設定し、技術提案により開発される技術の新規性、有効性、現場実証の具体性などを評価。

【同時FAX先】

(株)建設速報社、新潟建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社 新潟支局
日本工業経済新聞社 新潟支局、日刊建設工業新聞社 北陸総局、建設ジャーナル社
産業新聞社 信越支局、鉄鋼新聞社 新潟支局、北陸工業新聞社 新潟支局

【問合せ先】

国土交通省 北陸地方整備局 企画部 TEL 025-280-8880(代表)
技術管理課長 松永 和彦 (内線3311)
技術検査官 南 健二 (内線3124)、瀧澤 秀則(内線3121)

【参考】『**新技術活用促進Ⅱ型**総合評価落札方式』について

○実施目的

技術提案に基づき、実用段階に達していない技術を工事の実施過程で実証・検証することにより、新技術を活用した効率的な施工管理、安全管理等による工事品質の向上等につなげることを目的とする。

○対象工事

技術提案評価型S型を適用する工事のうち、発注者と連携し施工現場において一体的に取り組むことにより、当該事業において工事品質向上等の効果が期待される技術があるもの。北陸地方整備局では、トンネル工事に加えて、鋼橋上部工事も試行する。

○工事成績評定の反映（対象外）

新技術導入促進（Ⅱ）型で対象とする技術は、工事成績評定の対象外とする。

ただし、受注者の責により提案の不履行があった場合は、工事成績評定の減点等、必要な措置を行うものとする。

提案内容の履行については、新技術に関する現場実証の有無であり、成功の可否ではない。